

2023年1月20日  
株式会社リージョナルマーケティング  
サツドラホールディングス株式会社

各位

## 自治体還元 EZOCA 第二弾、「小清水 EZOCA」登場

～サツドラHDが小清水町と地域活性化等に関する包括連携協定を締結～

サツドラホールディングス株式会社（本社：札幌市東区/代表取締役社長兼 CEO：富山 浩樹、以下「サツドラHD」）とグループ会社である株式会社リージョナルマーケティング（本社：札幌市東区/代表取締役社長兼 COO：渡部 真也、以下「当社」）は、北海道斜里郡小清水町（町長：久保 弘志、以下「小清水町」）や小清水町商工会（住所：北海道斜里郡小清水町、会長：橘 芳和、以下「商工会」）との4者で連携し、2023年1月20日より新たに北海道共通ポイントカード EZOCA の地方自治体オリジナル版である「小清水 EZOCA」を導入し運用が始まりましたのでお知らせいたします。



1月11日にサツドラHDと小清水町との間で包括連携協定（以下「本協定」）が締結されたことに基づき「官×民×地元商店街」との取り組みとして実現されたもので、サツドラ店舗を含むEZOCA提携店で使用が開始されます。

今回の取り組みに合わせて、一般財団法人ふれ愛こしみずが平成元年から34年間の永きにわたり取り組まれてきました「ふれ愛スタンプ」の活動は1月31日をもって終了し、EZOCAへ移行となります。

今回の導入に際し、小清水町から全町民4,514人（※）に向け1人当たり5,000円分のポイントを付与することで町民による地元経済の振興を図り、また全道のサツドラ店舗での買い物金額の売上の一部（0.2%）を町に還元する仕組みを導入することで持続可能なまちづくり支援の形として期待しております。

※2022年12月1日現在

EZOCAが地方自治体オリジナル版を作成するのは江差町に続き2例目となります。



＜1月11日 小清水町役場で行われた締結式＞

(左から：商工会 会長：橋 芳和、小清水町長：久保 弘志、  
サツドラHD 代表取締役社長兼 CEO：富山 浩樹、当社 代表取締役社長兼 COO：渡部 真也)

### ■本協定の名称

サツドラホールディングス株式会社と小清水町の地域活性化等に関する包括連携協定

### ■本協定の締結日

2023年1月11日（水）

### ■本協定の事業内容

- 1.地域住民の生活利便性向上に関する事
- 2.まちづくり、地域振興に関する事
- 3.健康増進・高齢者支援に関する事
- 4.子育て支援・教育に関する事
- 5.農業・商工業・観光業の振興に関する事
- 6.災害時における生活物資等の供給に関する事
- 7.行政業務の効率化（DX化）に関する事
- 8.その他

### **■当社 代表取締役社長兼 COO 渡部 真也よりコメント**

今回、江差町様に続いて2例目の自治体 EZOCA の取組として小清水 EZOCA が実現し、大変嬉しく思っております。

2022年5月ごろから小清水町様とはオリジナル EZOCA の話をさせていただき、わずか8ヶ月で導入まで至りました。これは、橋会長様をはじめとした商工会の皆さまの想いと、小清水役場のみなさまのご協力、坂田議長をはじめとした議会の皆さまのご理解とがすべて揃ってこのスピード感で実現出来たのだと思います。改めて御礼申し上げます。

EZOCA の事業が始まったのが2015年になりますが、通常はポイントが貯まって使えるサービスを提供することがベースですが、当初から北海道コンサドーレ札幌のようなスポーツチームの方々と提携をし、お買い物など普段の生活の中で、その行為自体が自分たちの応援するチームに還元していくような付加価値を付けたサービスでスタートしました。

現在、5つのスポーツチームと連携をしており、先に導入した江差町様におかれましても、カードを持つ一人一人の想いを還元させていくスキームでスタートさせています。

今回で2例目となる小清水町様においても基本機能は同じですが、町の方々が望んでいることや考えていることを一緒に未来に向けて実現できるようなサービスにしていきたいと思っております。

### **■サツドラHD 代表取締役社長兼 CEO 富山 浩樹よりコメント**

この度は、小清水町様と包括連携協定を結ばせて頂くということで大変うれしく思っております。

北海道では多くの社会課題を抱えており、その解決が無ければ持続可能なまちづくりができない状況です。

そうした中で我々は「ドラッグストアビジネスから地域コネクティッドビジネスへ」というビジョンを掲げ、少しでも一助になればと思っております。

ドラッグストアを核としながら、北海道に住む約210万人にご利用いただいている地域共通ポイントカードのEZOCAとの2つの軸で、今回我々と小清水町が官民連携のような新しい形を作ることができました。

今回の小清水町様におかれましては町長様をはじめ、商工会の会長様、議会の方々などご協力頂きましたが、町民のみなさまの暮らしに少しでも貢献できればと思っております。

新時代の小商圈フォーマットの店舗モデルも検討する中、EZOCAと連動したまちづくりを協働でやらせていただくことに深く感謝申し上げます。

### **■小清水町長 久保 弘志様よりコメント**

サツドラホールディングス株式会社様と小清水町との地域活性化等に関する包括連携協定締結式の開催にあたり、関係者のみなさまに厚く御礼申し上げます。

町長として就任以来、町民が幸せを感じ、笑顔で安心して暮らせる町づくり、そして未来へと続く「町民との協働によるまちづくり」を進めて参りましたが、住みやすい町、子育てしやすい町を目指す中で、ドラッグストアが欲しいという声を数多く伺ってきました。

また、町内商店などが加盟・運営をしております、ふれ愛スタンプのデジタル化という課題解決がありました。

これらの課題解決を図るため、北海道共通ポイントカード EZOCA の地方自治体オリジナル版「小清水 EZOCA」を作成いただき、その活用策の第一弾目として全町民に小清水 EZOCA を配布するとともに、現在の物価高騰対策として町民一人に 5,000 円分のポイントを付与することで家計負担の軽減と地域経済の振興を図ります。

また、小清水 EZOCA は買い物金額の売上の一部を町に還元いただける仕組みなので、将来のまちづくりへの財源としても非常に魅力的な仕組みであり、大きな期待をしています。

町としてもデジタル社会に対応した取り組みが必須の中で、行政 DX の推進と利便性確保の観点から、将来的に小清水 EZOCA に行政ポイントを付与するなど、町民との協働のまちづくりに向けたツールに育って頂ければと考えています。

地方自治体の責務であります、住民の命、財産を守ること、また多様化する住民ニーズを的確にとらえ、各種政策に反映し続けるため、本日の協定締結により民間企業との連携を通して小清水町民にとって住み続けられる町、住みたい町と心から思ってもらえるまちづくりを行って参ります。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社リージョナルマーケティング 田中  
TEL：011-215-1002(代)

サツドラホールディングス株式会社  
社長直轄グループ CI・広報チーム 広報担当：小寺／安部  
TEL：011-788-5166(代) / MAIL：skouhou@satsudora.jp